

学校教育MM (交通すごろく)

今回の特徴

- 航空写真のゲームボード化
- 等身大すごろく
- CO2の排出を“見える化”

概要

乗り物を使っての移動を疑似体験してもらい、クルマの利用と渋滞の関係、また公共交通を利用した移動についても考えてもらう。またペットボトルのキャップをCO2量として各参加者が持ち、環境についても考えてもらう。

実施内容

- ・クルマもしくは公共交通を使って、ゴール地点の金城ふ頭を目指す。
- ・ゲームを始める前にCO2のコインを30枚配布。
- ・ゴール地点に到着した順位と、CO2のコインが多く残った順位を足し合わせて、最終の順位を決める。

1

ゴールに到着した順位

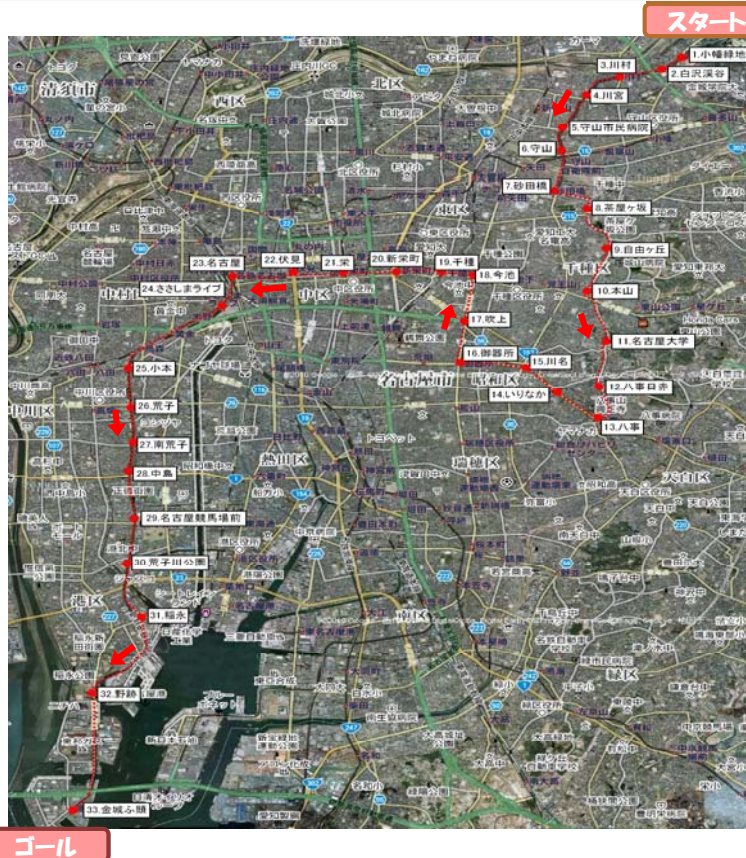
2

CO2のコインが多く残った順位

① + ②

最終順位決定！！

ゲーム盤



進み方とCO2の排出量

出したカード		「クルマ」のカードを出した人数					
		1人	2人	3人	4人	5人	6人
クルマ	進めるマス	5	4	2	1	0	0
	CO2量	3			渋滞		
公共交通	進めるマス	3	3	3	3	3	3
	CO2量	1					

公共交通のカードを出した人は必ず3マス進むことができるが、クルマのカードを出した人は、同じカードを出した人が多いほど渋滞するため、進めるマスの数が少なくなる。

使用したツール



帽子(6色)



CO2回収箱

同色で統一



クルマと公共交通のカード



CO2量

学校教育MM（交通すごろく）

●航空写真のゲームボード化

●等身大すごろく

わたしは公共交通で3マス進むと、次は栄だ！



ぼくの家から、伏見は近いよ！



わたしは名古屋まで進むよ。名古屋はお母さんとよく行んだ。



すごろくのボードには施設床の航空写真を使用

- ゲーム盤に航空写真を使用し、自身がコマとなり、帽子で識別することによりゲームを行った。
- ゆとりーとライン、地下鉄、あおなみ線の33駅を結ぶルートとし、いろいろな路線を利用する設定としたゲームを進行する中で、位置を確認する時に駅名を言う機会も多かった。

●CO2の排出を“見える化”

交通すごろくど〜っち！



公共交通はCO2のコインを1枚、クルマは3枚を、被っている帽子と同じ色の容器の中へ払ってね。

自分で排出したCO2量を数えてみよう！



- 「自分で胸にぶらさげているカバンからCO2量を排出する(=減っていく)、そして最後に排出した量を自分で数える」という一連の流れを行うことで、移動手段による環境負担の違いを実感するよききっかけになった。
- 小学4年生以上の場合にはCO2について理解して、考えながらゲームに参加していた。

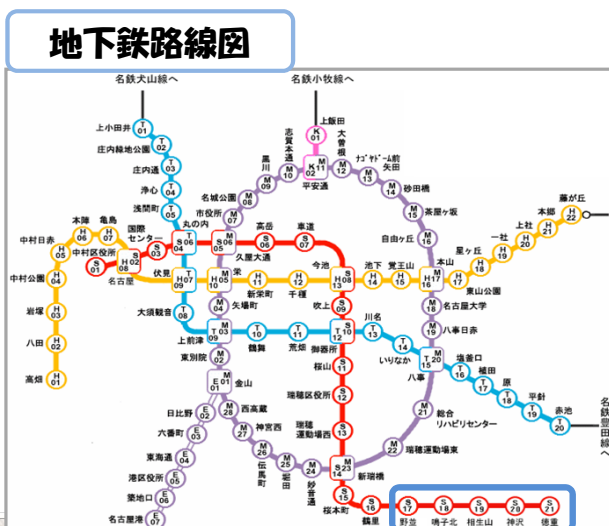
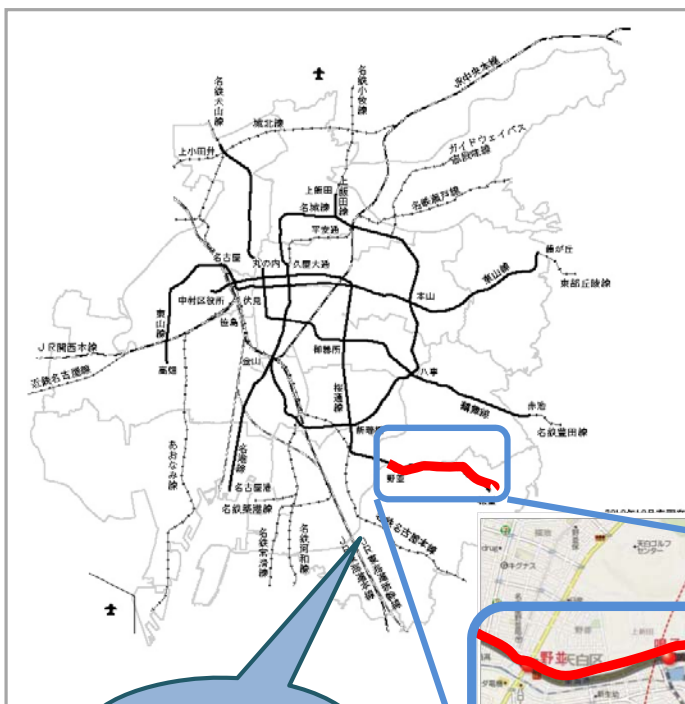
居住者MM（徳重地区）

ねらい

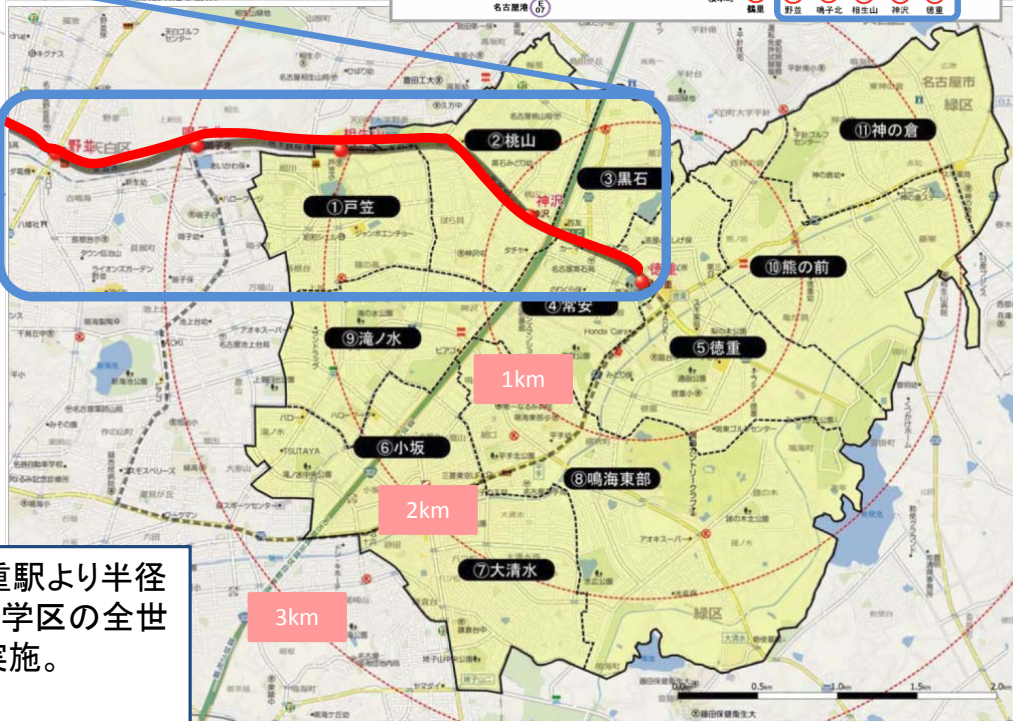
平成23年3月末に地下鉄桜通線が徳重駅(新駅)まで延伸開通し、周辺のバス網も大幅に再編された。この開通前後に徳重駅周辺の居住者を対象とした大規模なMMを行うことで、住民が地域の交通環境変化を再確認し、交通のあり方について考え、よりよい交通行動の実践につなげていく。

【平成22年度】※直接投函方式、郵送回収
 <配布数>
 30,036世帯(世帯票各1通、個人票各2通)
 <回収数>
 世帯票 9,541通 (回収率32.8%)
 個人票 15,274通 (回収率25.4%)

【平成23年度】※WEBアンケートと直接投函方式、郵送回収
 <配布数>
 11,218人
 (平成22年度に実施したアンケート調査において、今後のアンケート調査に協力できると回答した人が対象)
 <回収数>
 1,587通 (回収率14.1%)



平成23年
3月開通



桜通延伸区間末端となる徳重駅より半径3km圏内に含まれる小学校区11学区の全世帯を対象に、アンケート調査を実施。

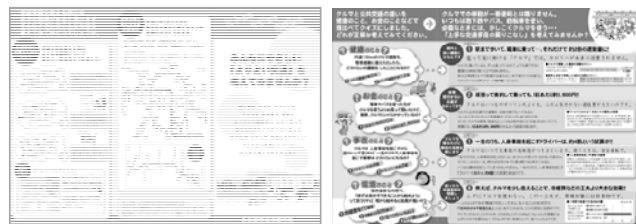
居住者MM（徳重地区）

開通前

- 開通直前に、市民の関心の高い地域の全戸に配布
- 開通後の公共交通利用をイメージしてもらうためのツールを配布
- 開通後に予定しているアンケート調査への協力要請

平成22年度 配布ツール

配布用封筒、調査依頼文、世帯票(アンケート)、個人票(アンケート)、返信用封筒、リーフレット



リーフレット

開通後

- 開通直前のアンケート調査で、「今後も協力する」と回答した人を対象にMMを実施
- 第1弾MMの結果報告・第1弾で回答者の関心の高い事柄に分類した動機づけツールの配布
- 開通に合わせて変化した路線図や時刻表などのツールを配布

平成23年度 配布ツール

配布用封筒、調査依頼文、アンケート調査票、回答はがき、平成22年度調査概要版、市バス・地下鉄・路線図・ご利用案内、My移動手帳、リーフレット動機づけ情報資料「移動に関するおはなし」、交通移動診断カルテ



My移動手帳



交通行動診断
カルテ



市バス・地下鉄・路線図・
ご利用案内

アンケートはWEBアンケートでの実施を予定していたが、回収数の少なさが想定されたことから、実施を2回に分け、1回目はWEBアンケートを実施し、1回目の回収状況を見て、2回目のアンケート方式を判断することとした。それぞれの回の対象者数は全体(11,218人)の半数(5,609人)ずつとした。その結果、1回目はWEBアンケートの回収状況が118通と少なかったことから、2回目はWEBと回答はがきによる郵送回収方法をとった。

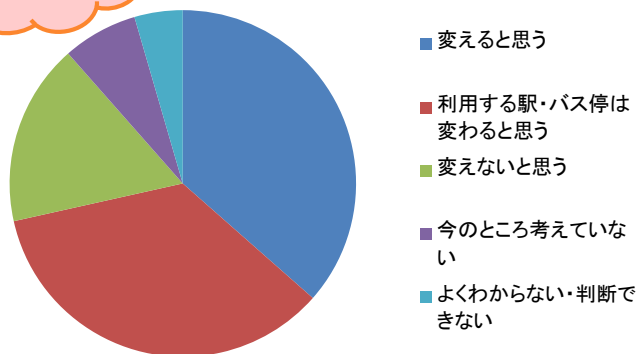
居住者MM（徳重地区）

アンケート結果

地下鉄桜通線延伸やバス路線の再編により、交通手段をかえますか。

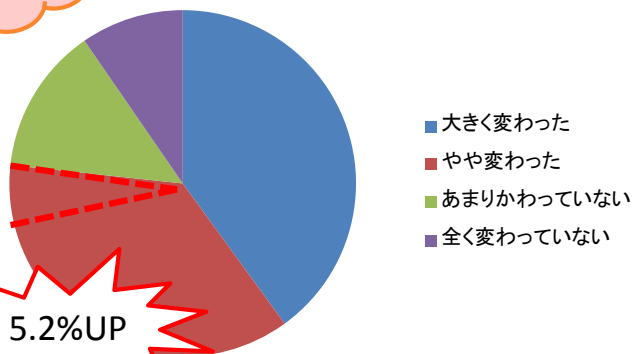
開通前

【平成22年度】

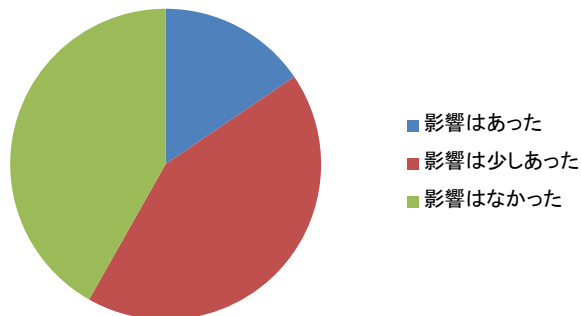


開通後

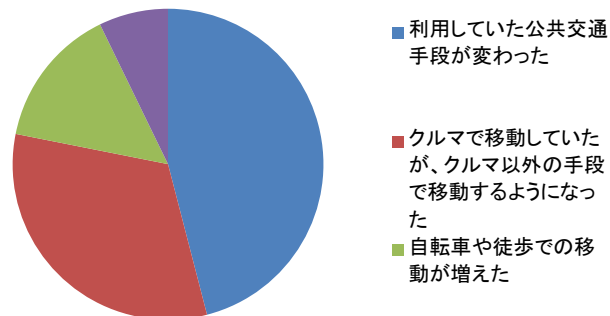
【平成23年度】



送付したリーフレットやアンケートの影響があったか



「大きく変わった」「やや変わった」の詳細



自由意見

- 地下鉄延伸にあわせた市バス路線の再編により、市バスの利用方法や時刻表等の資料が大変役に立つと思った。
- バイクで通勤していたが、地下鉄延伸により公共交通機関を利用して通勤できるようになったので、交通事故のリスクが減り大変うれしい。
- 地球の将来のために、このような取組を行政機関が積極的に行っていることに共感している。
- 地下鉄延伸により、天白区行きのバスが廃線され別の路線バスも本数が減ったため、不便になった。逆に、クルマでの移動が増えた。
- 良い取り組みだとは思いますが、アンケートの回収率が低い。この点を改善できれば、効果やCO2削減など前進するのではないかと。
- 地下鉄と市バスだけでなく、JRや名鉄の路線図や時刻表も配布して欲しい。